

国際スポーツ統括団体における日本人役員及びスタッフのポスト獲得に関する  
ワーキンググループ設置について

平成30年11月2日  
スポーツ庁国際課

1. 目的

スポーツ国際戦略に基づくスポーツ国際展開を推し進め、我が国が国際的なプレゼンスを向上させるためには、様々な分野又は段階で、国際スポーツコミュニティに積極的に参画し、国際的なスポーツ政策の策定又は意思決定に自ら関わっていくことが必要である。

そこで、国際オリンピック委員会（IOC）、国際パラリンピック委員会（IPC）及び世界アンチ・ドーピング機構（WADA）等の有力なスポーツ統括団体における日本人の役員及びスタッフのポスト獲得について検討するワーキンググループを設置する。

2. 構成員

スポーツ庁  
外務省  
公益財団法人日本オリンピック委員会  
日本パラリンピック委員会  
独立行政法人日本スポーツ振興センター  
有識者

3. 検討事項

- ターゲットとなる機関の選定  
→ 戦略的なポスト獲得方策を立案

<参考>スポーツ国際戦略（抜粋）  
（具体的な施策）

- ④ スポーツ庁は、JOC、JPSA/JPC、JADA 及び JSC と連携して、IOC、IPC 及び WADA 等の有力なスポーツ統括団体における日本人の役員及びスタッフのポスト獲得に関し、WG において検討を開始する。